

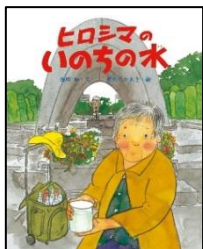
としょかん・なつやすみによもう！2025 小学3.4年生



ヒロシマのいのちの水

さしだかずこぶん のむら たかあきえ
指田和子/文 野村たかあき/絵
ぶんけんしゅつばん
文研出版

えほんひ

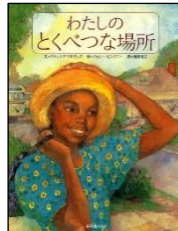


1945年8月6日の朝、アメリカが広島に落とした原爆で、14万もの人が死にました。そのとき託児所で子どもたちの世話をしていた宇根利枝さんの、お話です。

わたしのとくべつな場所

ふじわらひろゆき やく
パトリシア・マキサク/文 藤原宏之/訳
しんにほんしゅつばんしゃ
ジェリー・ピンクニー/絵 新日本出版社

えほんわ

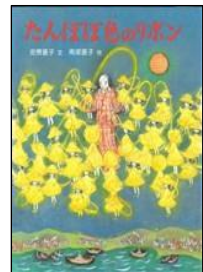


1950年代のアメリカ。黒人の女の子パトリシアは、大きな“あの場所”をめざして、はじめてひとりで出かけました。でもバスはうしろの席しかすわれないし、公園のベンチは「白人専用」。彼女がむかう場所とは、どこなのでしょう？

たんぽぽ色のリボン

あわなおこ みなみづかなおこえ
安房直子/文 南塚直子/絵
こみねしやてん
小峰書店

よみもの 913 ア



小さなぶんぼうぐ屋さん「たんぽぽ堂」のおじいさんは、さみしくてたまりません。近くにお店ができてから、お客が少しもきてくれないからです。でも、あるばん、黄色い服を着たふしぎな女の子がやってきて…。

かあちゃん 取扱説明書

いとうみく/作 佐藤真紀子/絵
さとうまきこえ
どうしんしゃ
童心社

よみもの 913 イ



ぼくのかあちゃんは、いつもいばっているし、ガミガミうるさいし、ケチだ。だけど、ほめるときげんがよくなる。これをとりあつかいせつめいしよにして、あつかえば、ぼくの思いどおりになるかもしれない！

おかえり！盲導犬ビーン

いのうえ ひろの たかこえ
井上こみち/文 広野多珂子/絵
こうせいしゅつばんしゃ
佼成出版社

よみもの 913 イ



ある日、リョウタの家に盲導犬候補になった子犬がやってきました。リョウタの家族は、パピーウォーカーとして、1年間だけ、この犬を育てるのです。盲導犬になるための準備って、どんなことをするのか？

火よう日のごちそうはひきがえる

さとうりょうこ やく
ラッセル・E.エリクソン/作 佐藤涼子/訳
さとうりょうこ え
ひょうろんしゃ
ローレンス・ディ・フィオリ/絵 評論社

よみもの 933 エリ



ウォートンとモートンは土の中にすむヒキガエルの子。ある日、ウォートンは外に出て、おばさんの家にりょうりをとどけることになりました。さっそくでかけますが、とちゅうで大きなつばさを広げたミミズクにつかまってしまい…。

子ねずみウォルターはのんびりや

まーじょりー・フラック/作・絵
おびかゆうこ/訳 徳間書店

よみもの 933 フラ



ねずみ一家の末っ子ウォルターはなにをするにもゆっくりのんびり。ある日学校から帰ると、家の中はからっぽでだれもいません。ひっこしに、おいていかれてしまったのです。ウォルターは家族をさがすたびにでました。

森でつながるエゾモモンガ

はらだよしみ しゃしん ぶん
原田佳実/写真・文
ぶんいちそうごうしゅつばん
文一総合出版

自然科学 489 ハ



北海道の森に住むエゾモモンガ。ハンカチのように体を広げて、木から木へ、とびうつりながらくらしています。夜に生活するので、めったにみられないそうです。どんな暮らしをしているのか、のぞいてみましょう。



みよしちやうりつとしょかん ちやうおうとしょかん でんわ
三芳町 立図書館 中央図書館(電話049-258-6464)
ちくまざわぶんかん でんわ
竹間沢分館(電話049-274-1722)